



日本地質学会第 120 年学術大会 市民講演会

災害に備える安全な社会とは ～求められる発想の転換と主体性～

講師：柳田邦男（作家・評論家）

日時：2013 年 9 月 16 日（月・祝） 14:30～16:00

会場：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

共催：東北大学理学研究科、東北大学災害科学国際研究所、
東北大学東北アジア研究センター、東北大学学術資源研究公開センター

後援：仙台市教育委員会、宮城県教育委員会、河北新報社、TBC 東北放送

現代の過密社会においては、自然災害が巨大災害の色彩を濃くしている。その主要な背景要因として、科学・技術への過信、歪んだ効率主義・科学主義、リスクの確率論への過度の依拠、リスクコミュニケーションの未成熟などを指摘することができる。それらを克服するには、どうすればよいのか。真に安全な社会を構築する基盤と成る考え方の枠組みとして、地殻変動の時間スケールに人間の時間をどう合わせるか、技術や確率論の限界をどう認識するか、効率主義をどう見直すべきか、防災対策のハードとソフトのバランスをどう社会的に認知すべきか、リスクコミュニケーションをこの国に根付かせるにはどうすればよいのか、といった問題について論じたい。

《柳田邦男氏プロフィール》

1936 年 栃木県生まれ

ノンフィクション作家、評論家。航空機事故、医療事故、災害、戦争などのドキュメントや評論を数多く執筆。

■ポスター展

川内萩ホールのエントランスロビーにて、講演会の前後各 1 時間（13:30～14:30、16:00～17:00）、地質学会の研究者による研究紹介のポスター展を開催しています（発表者による説明あり）。



第120年 日本地質学会学術大会

2013 年 9 月 14 日（土）～16 日（月）
@仙台・東北大学川内北キャンパスほか
<http://www.geosociety.jp>